

# 令和4年度 尼崎はこう変わる!

## 注目事業

### 子どもの医療費助成の拡充 令和4年7月から

- 通院の医療費は、0歳から中学3年生まで所得に関わらず助成の対象とし、自己負担は所得と年齢に応じ軽減
- 入院の医療費は、0歳から高校3年生まで所得に関わらず自己負担なしに

### 鉄道駅周辺の特色あるまちづくり

- 小田南公園への阪神タイガースファーム施設の誘致に伴う阪神大物駅周辺整備の実施
- 阪神尼崎駅周辺公共施設の管理の効率化と駅周辺の一体的な賑わいの創出
- 阪神出屋敷駅周辺で官民連携による自治のまちづくりを推進

## 教育

### 中学校図書室への学校司書の配置

- 中学校の図書室に図書館司書資格や司書教諭資格等を持つ学校司書を配置
- 子どもたちの学びに合わせた図書を選択・収集や一定の開館時間を確保

### 医療的ケア児への支援の充実

- 医療的ケア児を市立学校園で支援する体制を整備
- 医療的ケア児を公立保育所で受け入れるための検討会を実施
- 医療的ケア児を受け入れる法人保育所に対して費用を補助

## 地域共生社会

### うけとめ・つなげる相談支援(重層的支援)

- 複雑・複合化した支援ニーズに対して子ども、高齢者、生活困窮者、障害者などの分野を超えて支えていく体制の構築
- 課題に気づいていない当事者と信頼関係を構築し、支援機関につなぐ支援の促進
- 成年後見制度利用促進による権利擁護支援の充実

### 児童相談所の整備着手・ヤングケアラーへの支援

- 児童相談所設置に向けた整備に着手
- ホームヘルパーを派遣し家事負担の軽減や当事者同士が交流できる居場所を設置



## 魅力発信

### 定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」のリニューアル

- エリアごとのブランディングも含めた暮らしやすいまちの魅力を発信

### 良好な住環境を目指す為の老朽危険空家等の除去促進

- 総合的な空家対策をより一層推進するため、税制優遇の見直しとさまざまな支援の両輪で取組を実施

## 環境

### 脱炭素化設備等導入促進支援事業

- 市内の産業団体や金融機関等と協力して脱炭素に関するセミナーを開催
- 省エネ診断を行い、市内中小企業者の再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の導入を支援

### 太陽光発電設備及び蓄電池の共同購入の実施

- 市民から購入希望者を募り、一括して入札・発注することで価格低減を促す共同購入事業の導入

### 市の事務事業における脱炭素への取組

- 公用車に電気自動車を導入、休日は市民向けカーシェア車両として活用
- PPAモデルを活用した公共施設への太陽光発電設備、蓄電池の導入
- 新築公共建築物におけるZEB Readyの導入や既存公共建築物における省エネ対策の徹底

## 地域経済

### 製造業生産性向上支援事業

- 製造機器設備の自動化や遠隔操作のための機器設備の導入(IoT化)の経費の一部を補助
- 作業環境の改善のための空調等の新設・更新経費の一部を補助

### 中小企業BCP策定支援補助金の支給

- 市内中小事業者が、BCP(災害時などの事業継続計画)の策定又は改定に要する経費の一部を補助

### 観光土産認証制度

- 土産物を更に充実させる取組として「観光土産認証制度」の創設
- 毎年募集し、提案を受けた土産物を認証

## デジタル化対応

### 歴史的公文書管理・公開事業

- 歴史的公文書のデジタル化や目録のウェブ公開
- 利用者の利便性向上や業務効率化を推進

### 業務効率化への取組

- 令和7年度末までに住民記録システムなどを全国規模の標準システムに移行するための準備作業
- 法規文書作成支援システムの導入
- 職員採用管理システムの導入

# 日本維新の会

# 尼崎市議団 通信

vol.21  
2022 春

発行元 日本維新の会 尼崎市議団  
〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23-1  
TEL:06-6489-6399 FAX:06-6489-6458  
本会派報は、会派に支給される政務活動費を利用し、発行・配布を行っております。

## 18歳まで入院費の自己負担ゼロに! 所得制限なし

2022年7月から、子どもの医療費助成が拡充されます。所得制限を設けず、通院費を所得と年齢に応じて軽減します。入院の場合、18歳になる年度末まで所得に関係なく自己負担がなくなります。拡充を含め、子どもの医療費助成計12億14万円が、2022年度当初予算案に盛り込まれました。従来の助成に加え通院の場合、小学1年生から中学3年生まで、低所得世帯においては自己負担がなくなります。それ以外の世帯は、1医療機関(※)あたり月2回まで1日400~800円の自己負担、3回目以降は自己負担がなくなります。この度、前進はしましたが日本維新の会 尼崎市議団では結成当初から子ども医療費「無償化」を公約に掲げてきました。今後も更なる子ども医療費拡充に向けて、議会に提案し続けて参ります。 ※1医療機関…病院、診療所、クリニック、調剤薬局

令和4年7月診療分から 0歳から18歳の医療費を拡充します

尼崎市 子ども医療費助成制度

01

0歳から15歳まで  
低所得世帯  
自己負担なし

02

0歳から15歳まで  
3回目以降無料

03

18歳までの  
入院負担なし

## 不満!! 教育長の再任人事案に 反対!!

松本真前教育長の残任期1年を引き継いだ白畑優教育長ですが、市立尼崎高改革、双星高のいじめYoutube問題をはじめ、様々な事柄に対しての対応の方法にリーダーシップが感じられませんでした。教育委員会全体に対しても、議会軽視と感じる出来事が多々あり、さらに3年延長する再任人事案に我が会派は反対しました。しかしながら、「子ども置き去り」とも取れる、可決をゴリ押しするための水面下での交渉や根回しが繰り返され、賛成多数で再任が可決されました。我が会派は、「真の子どもファースト」を実現できるよう、これまで以上に厳しい目で教育委員会をチェックし、組織の改革も含めて是正を強く求めて参ります。

<p><b>賛成 (20名)</b></p> <p>公明党 (11名) 日本共産党 ↳ 松澤千鶴 ↳ 川崎敬美 ↳ 山本直弘 ↳ 真崎一子</p> <p>市民グリーンクラブ ↳ 都築徳昭 ↳ 須田和</p> <p>蒼風会 ↳ 北村保子</p> <p>緑の未来 (2名)</p>	<p><b>反対 (16名)</b></p> <p>日本維新の会 (10名)</p> <p>市民グリーンクラブ ↳ 宮城亜福 ↳ 明見孝一郎 ↳ 綿瀬和人</p> <p>青雲の会 (3名)</p>	<p><b>退席 (4名)</b></p> <p>蒼風会 ↳ 林久博 ↳ 丸岡鉄也 ↳ 鷲田真緒 ↳ 津田加寿男</p>
<p><b>欠席 (1名)</b></p> <p>日本共産党 ↳ 広瀬若菜</p>		

※採決は議長を除く

## 2022年第6回定例会 代表質疑 2022年予算特別委員会 総括質疑

2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 出屋敷駅周辺の特徴あるまちづくり事業について

市長はこの任期で市民に夢を持たせられるような市政は行ってきたか。また、発信も十分だったか。

#### A 答弁（答弁者 市長）

今任期においても住みたい、住み続けたい、住んでよかった尼崎の実現に向けて邁進し、実質的収支均衡の達成や将来負担の抑制など財政面の改革も進みました。その結果、本市のイメージは向上し若い世代の転入超過が続きます。鉄道駅周辺の特徴ある街づくり等、まちのエネルギーを多くの方に感じて頂けると思います。市民の皆様がまちに希望や愛着を持ち、自分らしく活躍できるよう、「ひと咲き、まち咲き、あまがさき」の街づくりを更に前へと進めます。

#### てらい大地（質問作成者）はこう思う！

公園の再整備が市民からの寄附で進むのは非常に嬉しく、素晴らしいこと。今後、寄附を初めてした民間活力を更にまちに呼び込むことが重要に。そのためにも、市長自らが夢と構想を語り、大きく発信し、構想に沿った官民連携が必要。日本で最も大きな夢を持ったまちであってほしい。

2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 高齢者就労事業について

老人福祉工場の利用目標者数が90人に、令和元年40人・令和2年37人だったが、市として利用者を増やすためにどのような取り組みをされたのか。また、利用者が増えなかった反省点を高齢者就労事業にどのように活かしていくのか。

#### A 答弁（答弁者 健康福祉局長）

これまで実施してきた老人福祉工場は、利用者の広がりが見えず、費用対効果の面で課題があると認識しています。令和4年度から「就労の活動支援コーディネーター」を配置し一人でも多くの高齢者が就労に携わっていただけるよう取り組みます。

#### 池田りな（質問作成者）はこう思う！

高齢者の就労支援は、「シニア世代の方々がいままで元気に過ごして下さること」強いては健康寿命を延ばすことができる事業だと考えます。また、家族の介護負担や医療費軽減にも繋がります。今後、事業を実施するだけでなく、アンケート等で当事者のニーズを把握し、本当に求められている就労支援を提供すべきだと考えます。

2022年第6回定例会 代表質疑

### Q 質問 老朽危険空家について

無接道地、狭小地、連棟住宅などの混在地域において、今後どのように老朽危険空家を減少させ、新たな開発を行っていく考えか。

#### A 答弁（答弁者 市長）

既成市街地において、土地や建物の活用を進めるためには、その地域の魅力を高めて、土地や建物の市場価値を高めることが重要であります。空家の除却や利活用といった「点」の空家対策だけではなく、跡地の有効活用やまちづくりのルールを定めるなど、暮らしのための環境を高めるソフト事業も含めた「面」の取組も重要です。地域の方々が、まちづくりの方向性を共有しながら、同じ目標に向かって土地利用を進めることができるように、まちづくり団体への必要な支援を行ってまいります。

#### 別府けんいち（質問作成者）はこう思う！

豊富な施策メニューを駆使しつつ解決率を更に上げて所有者の意識の変化を促し空家を未然に防ぐ施策を押し進める事、また、再建築については、技術的な相談にも柔軟に対応する事を要望致します。

2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 ヤングケアラー支援事業について

精神的サポートが必要な保護者もいる。淡々と家事補助をするだけでなく、話し相手になり、寄り添う時間が大切であるとする。それには、ヘルパーの仕事の水準を上げるために外部から専門的な体験ある方を呼び、勉強会を開催することについてご所見は。

#### A 答弁（答弁者 理事）

ホームヘルパーは介護保険法や障害者自立支援法の規定に基づく訪問介護者の資格所持者を想定しており、水準は一定レベル確保していると考えております。議員ご指摘の通り、ヤングケアラー向けのヘルパーは子ども若者に寄り添うことも求められておりますので、ヤングケアラー支援の専門家を招いた研修に、ヘルパーの方もご参加いただける方法で実施してまいります。

#### 西ふじあき子（質問作成者）はこう思う！

ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であり、本人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必要であっても表面化しにくい。ヤングケアラーに関する情報を周知することを要望致します！

（代表質疑発言者）  
幹事長 光本けいすけ



▼代表質疑動画



右面に掲載動画は

2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 ひきこもり等支援事業について

働いていた方が働けなくなる要因のひとつとして、「過去に過労死寸前まで働いた結果、精神疾患を発症した」というケースがある。市民の安全・安心な生活を守るために、過労死を防ぐ取組をすることは大変重要であるとする。コロナ禍の現在、最も心配なのが保健所等だが、こういった事業所の労働実態は、市としてどのように把握しているか。

#### A 答弁（答弁者 医務監）

保健所の労働実態につきましては、各所属において日々の業務を通じて把握しており、保健所全体としても管理職を通して労働実態を適宜把握し、超過勤務の縮減に向けた検討を行っております。労働時間が特に長くなっている職員については、産業医面談を実施し、その結果を含めた保健所内の労働実態を、市役所として全庁的にも把握しているところで。

#### 西田けんじ（質問作成者）はこう思う！

働けなくなった方の多くは、心に傷を負っています。社会的要因を踏まえた上で、当事者に寄り添った支援をお願いいたします。

2022年第6回定例会 代表質疑

### Q 質問 地域振興センターの土日開庁について

地域振興センターを、地域を支えるための組織・施設としてより多機能化し、充実させるには、現在の土日出勤の対応よりも土日開庁にした方が、地域を支える上で効果的であり、働く職員にとっても良いのでは。

#### A 答弁（答弁者 市長）

土日開庁やそれに伴う職員の土日勤務体制については、市としても選択肢の一つと考えているところですが、一方で、地域活動においては平日開庁にもニーズがあることから、限られた人員体制のなかで、地域担当職員が固定的な土日勤務体制をとると、事業等に合わせた柔軟な対応が難しくなるといった点が課題になっています。

#### 松岡ようじ（質問作成者）はこう思う！

地域で、現役世代へ世代交代を進めるには、活動できる土日や夕方以降に相談等が出来るように土日開庁を含めた地域振興センターの体制を整えるべきと考えます。

2022年第6回定例会 代表質疑 及び 2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 予算化された町会灯助成事業の今後について

町会灯助成事業について、令和4年度の事業（LED灯への交換・新設費用の一部助成）を完成形とせず、尼崎市が先進都市となるよう、事業の拡充を検討し続けることを約束してもらいたい。

#### A 答弁（答弁者 稲村市長、都市整備局長）

町会灯の維持管理方法や設置箇所など現況を把握していく中で、公道を補完するような私道に設置されているものが約40%あり、町会では維持できず無くなることとなった場合には、市民生活に大きな影響が出ることが分かりました。町会からは、町会灯そのものを引き取って欲しい、電気代もあわせて助成して欲しいといった要望もありました。令和4年度に町会灯助成事業を進めていく中で、改めて地域の意見を聞くことにしており、今後は、これらの意見や市の財政状況を勘案した上で、助成のあり方を検討していきます。

#### 辻のぶゆき（質問作成者）はこう思う！

「町会灯そのものを引き取って欲しい」といった地域の声に寄り添い、事業が拡充されるよう、今後も求め続けていきます！

2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 受動喫煙防止について

たばこ対策推進条例に基づき、路上喫煙禁止区域が3駅4か所ある。禁止区域の拡充に向けて次の実施場所について現在の様な状況か。

#### A 答弁（答弁者 医務官）

路上喫煙禁止区域の拡大に向けて、鉄道駅周辺のまちづくりと合わせて進めるべく尼崎市はたばこ対策推進プロジェクトチームで検討しておりますが、庁内連携を図りつつ阪急武庫之荘駅で進めて行きたいと考えております。

#### 長崎くみ（質問作成者）はこう思う！

喫煙者の多くの方は周りに配慮し、喫煙所にて喫煙されています。それでも、まだまだ、路上で煙にふれる時があります。子ども、妊婦の方、私たち一人一人の健康のためにも、さらなる、路上喫煙禁止区域の拡充に取り組めます！

2022年3月予算特別委員会 総括質疑

### Q 質問 ヤングケアラーへの思い！

月わずか3回でヤングケアラーの心理的負担や家事などの負担軽減につながるのか。

#### A 答弁（答弁者 理事）

1世帯あたり年間40時間、おおむね週2時間で5か月間、または週1時間で10か月程度といったヘルパー派遣を想定しています。派遣により、ヤングケアラーが担っている介護や家事負担は一定軽減されるかとは思いますが、単に派遣するだけでなく、総合的支援につなげていく事を想定しています。事業初年度であることから、そのニーズや効果、分析等をしっかりといひ、今後、必要があれば事業の拡充等について検討してまいりたいと考えております。

#### 安浪順一（質問作成者）はこう思う！

ヤングケアラーは毎日、遊びたい・勉強したいであろう大切な時間を、親や小さな弟や妹の面倒をみるために使っています。毎日大変なストレスを抱えるヤングケアラーの、心理的負担や家事などの負担軽減のためのヘルパー派遣が、たった月2~3回。少なくとも週1回位は派遣出来ないのか。

## 2022年予算特別委員会

## 総括質疑



### 別府けんいち

#### Q 質問 公設地方卸売市場について

市場機能だけの建て替えではなく、稼ぐ力を与えるワクワクするような施策を考えるべきと思うが、どうか。

#### A 答弁（答弁者 経済環境局長）

ハード面の「施設に係る内容」とソフト面の「市場運営に係る内容」をセットで考える必要があり、安定した運営を継続するためにも、稼ぐ力も重要となります。現在の立地を踏まえた集客施設等の導入については、費用対効果のみならず、長期的な運営が大きな課題と考えており、運営主体を含め、慎重な判断が必要であるがご指摘の通り、にぎわいの創出など、集客力の強化は、重要な要素であると認識しております。

#### 別府けんいち はこう思う！

市場関係者から聞くビジョンや想いと、当局から聞くビジョンには、大きな差異があると感じており、巨額の投資を行うことに不安を感じています。現地での市場建替えを行うのであれば、多様な意見を聞き入れた上で、ワクワクする賑わいを創出し、市場の稼ぐ力と観光入込客が増加する様な計画を要望致します。



### 辻のぶゆき

#### Q 質問 新篠川橋の歩行者・自転車の早期通行は新たな展開へ！

新篠川橋の歩行者・自転車の早期通行について、信号機の設置も課題になるかもしれないが、同じく篠川に架かる善法寺橋は、信号機が設置されていないにも関わらず、多くの歩行者・自転車が通行しています。新篠川橋は、令和4年度はどういった状況を目指すのか。

#### A 答弁（答弁者 都市整備局長）

新篠川橋を信号機を設置せずに安全に横断することができるかどうか、同じように信号機がなく、堤防上の道路を横断している箇所(善法寺橋)の交通量を調査するなどの検討を進めているところであり、これらの調査結果を踏まえ、信号機なしでの通行が可能か、再度、警察と協議を行っていきます。

#### 辻のぶゆき はこう思う！

新篠川橋が完成し1年程度が経過していますが、歩行者・自転車すら通行できない状況です。災害もいつ起こるかわかりません。避難経路としての利用とともに、地域の利便性の向上のためにも、一日も早く歩行者・自転車が通行できるよう、引き続き声を上げ続けていきます！



### 西ふじあき子

#### Q 質問 5~11歳の新型コロナワクチン接種について

小児ワクチンの接種については、保護者の方に慎重に検討していただくべきと思うが見解はどうか。

#### A 答弁（答弁者 医務監）

国は、小児に対するワクチン接種について、発症予防効果や重症化予防効果が一定期待できますが、エビデンスが必ずしも十分ではないことから、予防接種法上の「努力義務」の適用除外としております。そうしたことから、本市といたしましては保護者の方に引き続き、十分な情報提供を行うとともに、改めて医療機関にも通知をおこない、ワクチン接種に係る効果と副反応のリスクの双方について、医師と十分に相談していただいた上で、接種をするかどうか慎重にご検討いただけるように取り組みを進めてまいります。

#### 西ふじあき子 はこう思う！

基礎疾患がある子どもには重症化を防ぐ効果が期待される一方、子どものワクチン接種は、臨床データが少ないこと、そして国は「努力義務」を外したことを踏まえて丁寧な情報発信を要望致します。

2022年第6回定例会 代表質疑

### Q 質問 子育て世帯への支援の充実について

こども医療費助成拡充の次に必要な子育て支援策は何か。また、今後の見通しの中で実現の余地はあるのか。

#### A 答弁（答弁者 市長）

保育量の確保、保育士確保に資する取組、保育所・児童ホーム待機児童対策、保育料軽減要望への対応、児童虐待防止やその子供の受け皿に係る施策の強化、発達相談支援の充実、妊産婦各種検診の充実など、様々な取組が必要だと考えています。一方で、今後も収支不足が見込まれており、新たな事業を実施していくには引き続き構造改善に取り組む必要があり、財源確保とともに、優先順位を検討しながら進めていきます。

#### 光本けいすけ（質問作成者）はこう思う！

令和5年度以降も収支不足が見込まれており、厳しい状況が続きます。市有地の売却にも限界があり、新たな事業を実施していくには、これまで以上の覚悟と決断を持って改革をしなければ財源確保は不可能です。稲村市政でそれが可能なのか、厳しい目でチェックと提案をし続けます！

## 意見表明 一部抜粋（発言者）長崎くみ



**街づくりについて**：街づくりは行政だけでなく、寄附を初めとした民間活力を募ることが重要。尼崎市に投資したい・寄附したいと思わせられるように、市長自身が夢と構想を大きく発信することを要望

**ふるさと納税について**：ポータルサイトや記念品の拡充、収支差のマイナス幅を少しでも縮小できるように要望

**市営住宅について**：高齢化が進み、自治会による共益費の回収が困難になってきている。共益費は家賃と一体で回収、または指定管理者による徴収代行をすみやかに進めていくことを要望

**災害発生時の備蓄品の配備について**：市民の安心・安全のためにも、早急に指定避難場所となっている全小・中学校に備蓄品の配備を進める事を要望

**消防団施設維持管理について**：地域の消防団は、日々、市民の安心・安全のため活動され、市の広報活動にも尽力をされている。早急な改善が必要な消防団器具庫については、一日でも早い改善を要望

**都市農業活性化推進について**：災害対策としての防災協力農地登録制度については、関係部局が連携して、積極的な取組を行うよう要望

**自転車の街づくり推進について**：コミュニティサイクルポートの普及を図る中、尼崎市有地の民間駐輪場区画を有償で借受けを行わない尼崎市有地の適切な活用を要望

**交通弱者への支援について**：JR立花駅バス停のバリアフリー化、サイクル・アンド・バスライドの取組推進等、交通弱者への支援を要望

**高齢者のいきがい就労について**：老人福祉工場運営を反省し、シニア世代が本当に望んでいる就労支援をヒアリングやアンケートで把握し、就労事業に活かすことを要望

**生活支援サポーターについて**：ヘルパー不足を補うと言う目的ではじめた事業。しかし、認定を受けたにもかかわらず、介護の現場で働く人が少ない。経験値に合わせた処遇に見直していくとともに、活躍できる場の創出を要望

**ヤングケアラー支援について**：ヤングケアラーを市として見つけることが重要。関係機関と連携して、行政がその子供にきめ細やかな支援を行うよう要望

**医療的ケア児について**：幼児児童生徒の安全確保と一人一人の教育的ニーズに応じた支援が行われるよう、看護師配置の確保も併せてしっかりとした体制で行われるよう要望

**インクルーシブ公園の設置について**：アクセスが良い場所に、障がいがある子も、ない子も共に遊べるインクルーシブ公園設置を要望

**面会交流支援について**：（離婚等により父母が離れて暮らすことになった世帯において、別居親と子どもが円滑に交流できるための支援事業）：面会交流実施前に、念入りな事前面接や面会交流実施時に連れ去り等が起らないように要望

**感染症対策について**：小児に対する新型コロナワクチン接種について、発症予防効果や重症化予防効果が一定期待できる。しかし、エビデンスが十分ではなく、「努力義務」の適用除外となっていることから、ワクチン接種の効果と副反応のリスクの双方について医療機関にも通知を行い、保護者に十分な情報提供を行うことを要望

**受動喫煙防止について**：路上喫煙禁止区域の拡大として、2022年度は阪急武庫之荘駅で実施予定。今後ますますなる拡充を要望

**動物愛護について**：善意の寄附者に適正な情報提供を行い、高齢者多頭飼育問題を対応して下っているボランティアの方々に負担を掛けない助成金の活用を要望

**子どもの見守り活動について**：子どもの登下校の安心安全を確保するためにも、子どもの見守り活動に対し一定の予算をつけ制度化する事を要望

**英語教育の推進について**：意図を伝え合うコミュニケーション力にとどまらず、外国語を通じて積極的に人と会社と関わり、自己を表現するとともに他者を尊重するコミュニケーション能力の育成を要望

**教育委員会について**：子ども達がこれからの社会を生き抜くことができるよう、車の両輪の関係である市議会に対しても適時適切な報告や説明を行い、市議会とともに「未来を見据えた教育」「児童生徒一人ひとりに寄り添った教育」を力強く進めて行くことを要望